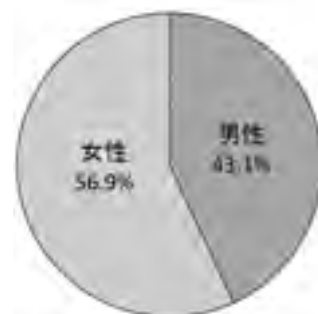
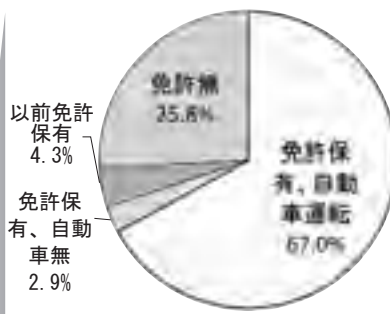
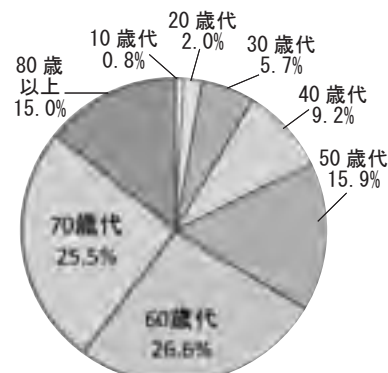




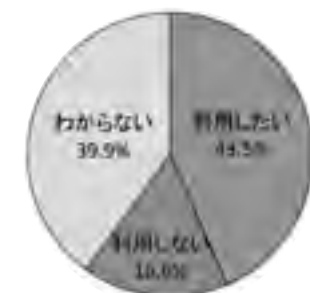
回答性別



免許・自動車保有状況



回答年代



新たな公共交通の利用意向

バス交通の利用実態調査結果とまとめ

バス利用に対する実態調査としてバス乗降調査を、昨年11月に実施しました。調査結果は次のとおりです。

■調査日時

休日 11月16日(土) 洞爺湖町巡回バス
平日 ①11月18日(月) 洞爺湖町巡回バス・洞爺地区福祉バス②11月19日(火) 路線バス③11月22日(金) 洞爺地区福祉バス

■路線バス

①洞爺湖温泉～伊達緑丘高校 1日110人となっていますが、ほとんど通学利用。

②湖畔線

1日23人の利用者がいますが、1日の便数も多く、1便当たりの利用者は2人と少ない状況です。月浦、壮瞥経由ともに、利用者が0人の便があります。

③ルスツリゾート～洞爺湖温泉

利用状況に応じてバス亭の削減等の検討が重要です。

■洞爺湖町巡回バス

洞爺湖町巡回バスの1日の利用者は、平日36人、休日が59人で、バス停別利用者数をみると、平日・休日ともに利用者が0人のバス停があります。

まとめ

利用状況に応じてバス亭の削減等の検討が重要です。

■花和経由福祉バス

花和経由福祉バスは、1日の利用者が2人とあまり利用されていません。

まとめ

予約運行型の乗合タクシーやバス(ワゴン)等の導入による効率的な運行形態の構築や洞爺地区福祉バスとの統一による地区間一体の運行体制の構築を検討することが重要です。

■洞爺地区福祉バス

洞爺福祉バスは、利用者が0人の便があり、岩屋地区方面からの利用者が少ない状況です。利用目的は、「通院」「その他(いこいの家の余暇目的)」が多数を占めています。

まとめ

利用者0人の便や利用者が少ない曜日が存在することから、減便や運行曜日の見直し等を行い、運行の効率化を行うことが

重要。

詳しい各調査の結果内容は、企画防災課、洞爺総合支所、洞爺湖温泉支所窓口、または町のホームページで閲覧できます。

各地区検討内容の全体像

